

未来を生き抜く力と健やかな「からだ」の育成

チーム武庫

3月末号

三田市立武庫小学校長 松田文貴

《令和4年度修了式を終えました！》

マスク不要という報道がなされる中ではありますが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、今年度も各教室においての修了式となりました。昨年度と同様、校長室にての修了証書授与を各教室に映し出すなど、オンラインを活用した式でした。子どもたちは、画面越しではありましたが、それぞれの教室でしっかりと式に参加し、各担任から修了証書を受け取るとともに、話をしっかりと聞き、修了式に臨みました。

昨日は卒業式が行われ、武庫小学校での思い出や未来への希望を胸に100名の6年生が立派に巣立っていきました。今年度も制約の多い1年でしたが、「武庫フェスティバル」「平和集会」など、6年生が頑張ってくれた姿は在校生の心にしっかりと残っています。中学校でも、武庫小学校の卒業生としての誇りを持って、頑張ってもらいたいと思います。

本日、3学期のあゆみを持ち帰ります。それぞれの子の頑張りが記されています。ご家庭でこの1年間の子どもの取り組みを振り返り、ほめるべきところをしっかりとほめて、次年度につないでいただきたいと思います。この1年、保護者の皆様には、本校教育に対する温かいご理解とご協力を賜りましたことに、厚くお礼申し上げます。



【6年生を送る会】



【各学年でお楽しみ会】

《感染症対策について》

新聞等でマスク解除のニュースが流れています。屋内での活動においても個人の判断にゆだねられるという報道がなされていますが、感染者は出ている状況であり、コロナウイルスが完全に収束したわけではないので、依然として感染予防策は講じなければなりません。引き続き状況に応じてのマスク着用や手指消毒等、予防策の徹底をよろしくお願いいたします。

習い事に行ったり、家族と買い物に行ったり、春休み中に外出予定があるかもしれませんが、休み中の過ごし方についてご家庭における指導をよろしくお願いいたします。友だちと遊ぶことがある場合は、遊び方等についても感染予防の観点から、お子様への声かけをよろしくお願いいたします。学校における教育活動については新年度に入り、国や県、市の方針にのっとり対応していく予定です。

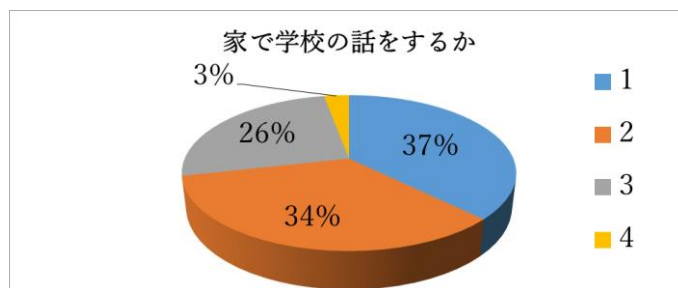
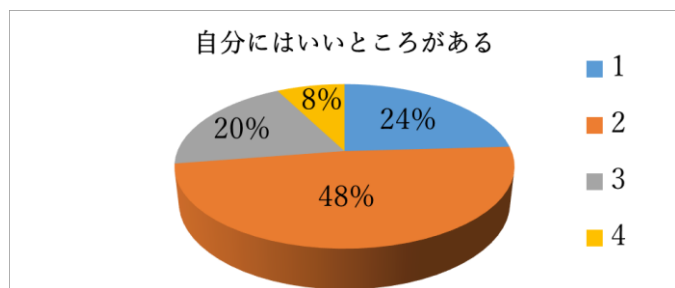
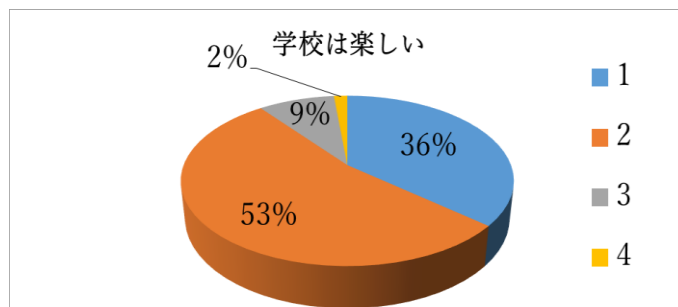
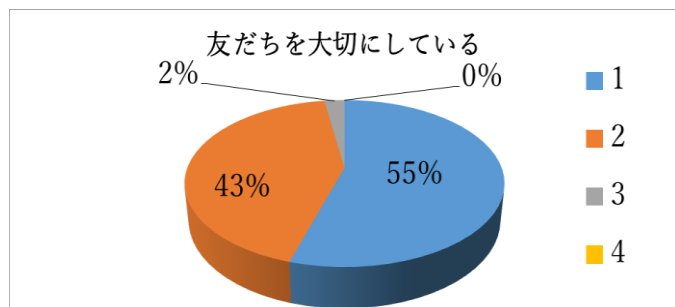
学校で配布されました「春休みのくらし」をよくお読みいただき、中学校入学前の春休みを健康かつ安全に過ごせるよう、ご配慮をお願いいたします。



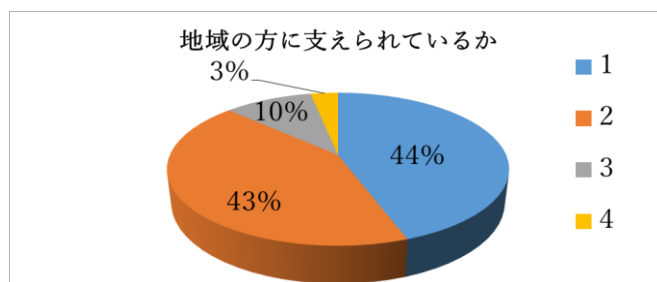
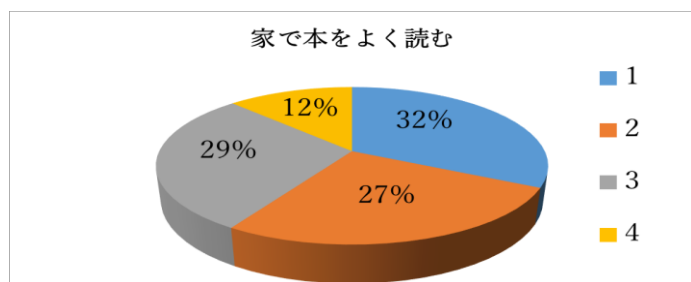
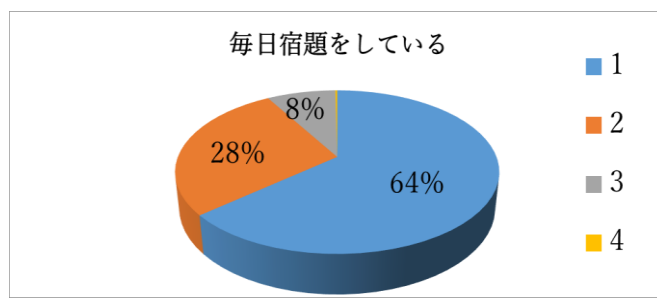
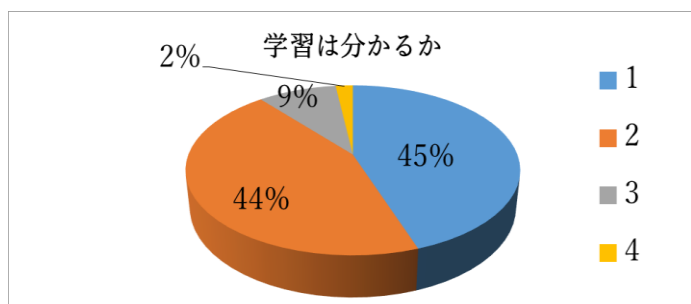
《学校評価について》

児童、保護者、職員、それぞれに日々の生活を振り返りながらアンケートを取りました。その結果を集計し、学校地域運営協議会において報告し、外部評価をいただきました。アンケート結果のうち、児童アンケートの人権教育、学習指導、生活指導等に関する部分について抜粋したものをお知らせします。

1 = 肯定 2 = どちらかと言えば肯定 3 = どちらかと言えば否定 4 = 否定



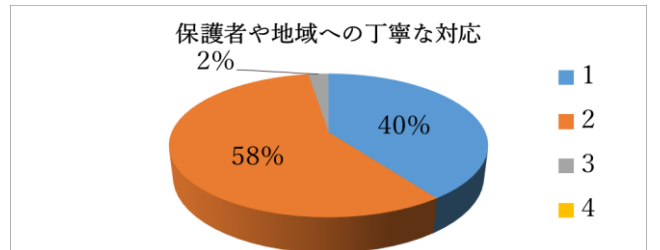
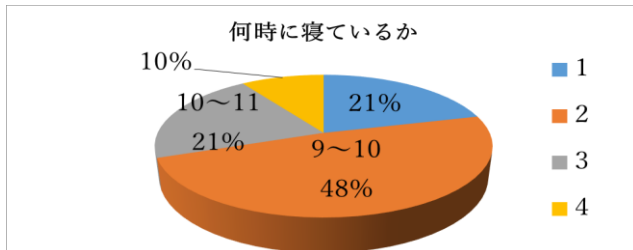
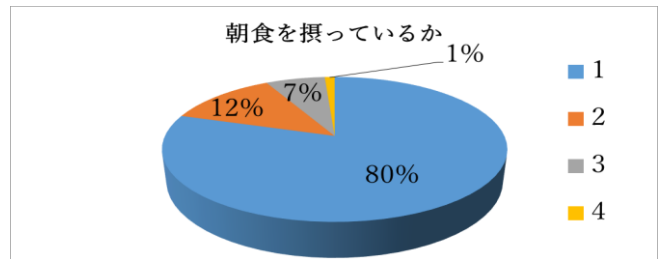
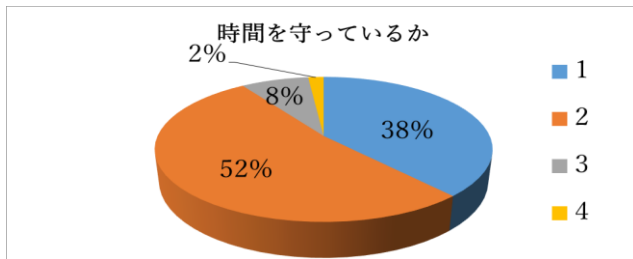
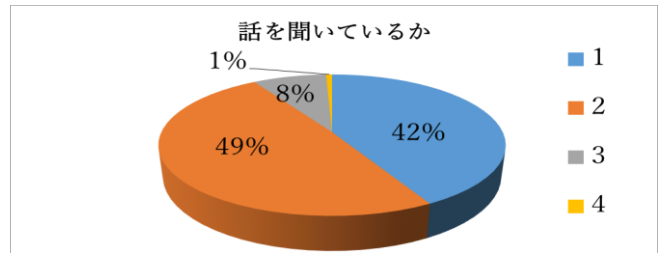
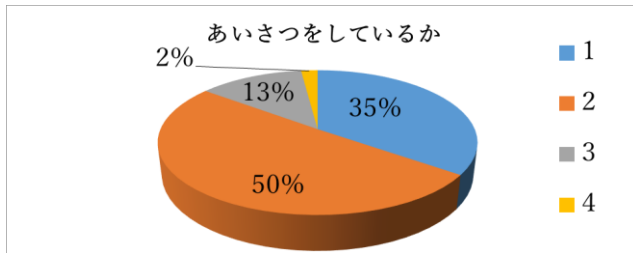
学校が楽しいと9割近くの子が回答しています。しかしながら、そうは思っていない子が1割程度います。保護者の方は97%が肯定でした。お家で学校の話をするという項目では30%近くの子が否定的回答で、保護者回答は15%でした。より楽しい学校づくりを進めていくとともに、子どもたちの気持ちを丁寧に聞いていきたいと思えます。また、友だちを大切にしていると感じている子が多いですが、学校でのトラブルが見られることもあり、人を大切にするということについて、引き続き学びを深めたいと考えます。日本の子は諸外国に比べ、自尊心が高くないと言われますが、先日発行しました「心ぽかぽか」にもありましたように、自己肯定感を高める取り組みをさらに進めていきます。



学習面においては、「学習がよくわかる」「家で宿題をしている」について、昨年同様の結果となりました。子どもたちの自己評価の高さに比べ、保護者、教員は十分でないとみえています。これは大人の求める基準が子どもに比べ高くなってしまっていることから来ています。子どもたちは9割近くが「よくわかる」と回答しています。これからもわかる授業を展開するとともに、「わからない」ことをそのままにしない取り組みを進めていきます。

読書については児童、保護者ともに同様の結果でした。「家で読書の時間がとれない」という声も聞かれましたが、ゲームやネット動画の時間は確保されています。読書と学力は密接な関係があると言われます。「ノーゲームデー、ノースマホデー」等の工夫が必要です。

地域のボランティアのみなさんに支えていただいていることの実感も高学年になるほど高いです。武庫小学校は地域の支援に支えられている学校です。今後ともご理解・ご協力をお願いします。



あいさつについては、児童、保護者ともに「できている」と感じている割合が高くてました。毎回のことではありますが、職員や地域の方からはそれほどの実感は得られませんでした。「自分から進んで」という部分について、十分でないと判断したことが考えられます。登校時も会話中にあいさつをしても会話をやめず素通りしていく姿がよく見られます。今後もあいさつについて、長い目で見ながら継続していきたいと思えます。

話を聞くこと、時間を守ることについては、児童の自己評価と保護者の評価に差が出ました。「聞いている」のか「聞いて理解している」のかが評価の分かれ目かもしれません。時間を守ることについても登校の様子が評価に影響を与えていることが考えられます。引き続き指導していくとともに、私たち大人が手本となれるよう、意識をしていかなければなりません。

生活習慣については、朝食を摂っていない子が40人近くに上りました。また、10時を過ぎてから就寝する子が140人以上いるようです。保護者の回答と大きなずれが見られる項目でした。これが、登校の状況と関係している可能性も考えられます。今一度、学校と家庭の連携が求められます。

保護者アンケートにおいて、学校の丁寧な対応について、昨年度同様98%の肯定的評価をいただくことができました。今後も、学校・家庭・地域がそれぞれの役割を果たしながら、子どもたちの健やかな成長のために取り組んでいきたいと思えます。ご協力よろしくお願いたします。